



令和8年度稲沢市職員採用案内

私たちは、「将来もずっと暮らし続けるまち」を目指します。



就職、結婚、家族が増えたとき…さまざまなライフステージにおいて定住希望が叶い、ずっと住み続けられるまちづくりを進めます。「稲沢市に住んでよかった。」「ずっと稲沢市で暮らしたい。」「進学や就職で稲沢市を離れるけれど、いつか戻って来たい。」市民にそう思われるように、まちの魅力を高めていきます。

名古屋駅からの鉄道アクセス10分圏という地理的優位性を生かし、居住地として選ばれるまちづくりを進めます。都市的な生活。自然が身近な生活。それらが程よく融合した、稲沢市の豊かな暮らしや魅力をブランドの域に高めていきます。

私たちは、次のような人材を求めています。



(1) 全体の奉仕者として自覚と責任を持ち、市民に信頼される職員

全体の奉仕者であるという基本を忘れず、常に責任のある行動を心がけ、市民から信頼される職員

(2) 市民の価値基準を正しく理解し、常に市民の感覚で考える職員

親切・丁寧な対応、笑顔で親しみのある接遇を心がけ、相手の立場になって行動できる職員

(3) 意欲的に職務を遂行し、広い視野をもつ職員

仕事に対して意欲的に取り組み、常に自己啓発に努め、中長期的な視点で物事を見通すことのできる職員

(4) コスト意識を持ち、効率的に職務に取り組む職員

「最少の経費で最大の効果」。常にコスト意識を持って計画的かつ効率的に職務を遂行できる職員

(5) 時代の変化に適應できる創造性豊かで、行動力と責任感に満ちた職員

柔軟な発想や積極性に満ちた行動により地域の課題に取り組む職員

稲沢市の取組み：DX、カーボンニュートラル、「子育て・教育は稲沢で！」など

DX：「書かない・待たない・行かない」といった次世代市役所の実現に向けて、行政手続きのオンライン化、窓口業務のデジタル化に取り組んでいます！

カーボンニュートラル：2050年(令和32年)までに、温室効果ガスの排出量が実質ゼロを目指し取り組んでいます！

「子育て・教育は稲沢で！」：若い世代が子育てに喜びや楽しみを持ち、安心して子どもを産み育てることができるまちとなるよう、ハード・ソフト両面での取組みを一層推進します。

○その他にも…市民の皆様が幸福(しあわせ)を実感していただけるような魅力あるまちづくりに全力で取り組んでいます！

◆勤務条件

1 勤務時間

平日 午前8時30分～午後5時15分(うち1時間休憩 → 実働7時間45分)

○日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律による祝日及び年末年始(1月2日、3日及び12月29日から31日まで)は、勤務を要しない日です。

○消防職は、原則として、交替制(2交替)勤務となります。通常の勤務時間は、午前8時30分から翌日の午前8時30分までで、うち15時間30分が勤務、8時間30分が休憩(仮眠等)です。

○保育園では、午前7時30分から午後7時15分までのうち、連続した8時間30分(うち45分が休憩)が勤務時間で、早番、遅番、土曜日勤務があります。

2 給与、福利厚生(令和9年4月1日予定)

区分	内容		
初任給	○以下は令和9年4月1日採用のモデルケースで、地域手当を含みます*		
	職種	学歴・経験	
	給与月額		
	一般事務・土木・電気・社会福祉士・保健師・学芸員	大卒	256,608 円
	一般事務	高卒	223,236 円
	保育士*	短大卒	240,408 円
	消防職	大卒	261,360 円
	職種	学歴・経験	給与月額
	一般事務・土木・電気・社会福祉士・保健師・学芸員	大卒・実務経験10年	306,936 円
	保育士	短大卒・民間経験10年	286,200 円
※初任給は、最終学歴及び職歴(原則、必要な資格を取得後のもの)により調整します。			
例) *保育士で最終学歴が4年制大学卒の場合 253,800 円			
※法改正や給与制度の見直し、実務経験の前歴換算等により、支給額は変動することがあります。			
手当	地域手当	給与の8%	
	扶養手当	子13,000円～(高校年代から5,000円加算)	
	住居手当	上限28,000円	
	通勤手当	通勤距離の区分に応じ支給(公共交通機関利用者は規定に基づき実費支給)	
	期末・勤勉手当	年4.65月	
休暇等	年次有給休暇	年20日	
	夏季休暇	年5日	
	結婚休暇	連続する7日間	
	出生サポート(不妊治療)休暇	年5日(場合により10日)	
	産前・産後休暇	出産予定日前8週間及び出産後8週間	
	生後1年に達しない子の養育	1日2回(それぞれ30分)	
	職員の妻の出産	3日を超えない範囲でその都度必要と認める期間	
	男性職員の育児参加	5日を超えない範囲でその都度必要と認める期間	
	子の看護	小学3年生以下の子1人の場合、年5日(2人以上の場合、年10日)	
	育児休業	子が3歳になるまで	
	その他の特別休暇	選挙権の行使、裁判員等として出頭、骨髄等ドナー提供、ボランティア、短期介護、忌引、父母の祭日、リ災時など	
	社会保険	愛知県市町村職員共済組合加入(健康保険及び年金)、公務災害補償制度など(任期付短時間勤務職員を除き、雇用保険の加入はありません)	
互助会	稲沢市職員互助会を組織しており、慶弔時の互助給付のほか、財形貯蓄、各種厚生資金の貸付、宿泊施設などの利用助成を行っています。		
研修	稲沢市職員人材育成基本方針及び稲沢市職員研修計画に基づき実施		
制服	職種により必要に応じて貸与		
健康管理	定期健康診断(消防職は年2回、その他は年1回)をはじめ、メンタルヘルス対策やがん検診、人間ドック等の助成制度、安全衛生委員会の設置、産業医による健康相談など、病気の予防や早期発見、健康増進など、職員の健康管理に関する取組を充実させています。		

◆試験日程等

○「稲沢市職員採用候補者試験実施要項」でご確認ください。稲沢市ホームページでご確認いただけます。

<https://www.city.inazawa.aichi.jp/000000282.html>



稲沢市職員採用情報